

§ 1 スポーツをする事がなぜ大切なのか？

スポーツとは定められた空間・時間・ルールの中で生徒が自分の能力や可能性を発揮することです。そのステージにいたるまでには、さまざまな練習を繰り返し、自らを省みて、周囲に支えられて行うものであります。

それは社会や人生の縮図ともいえます。つまり、生徒はスポーツを通して社会人の基礎を学んでいるわけです。

- フェアプレーの精神は社会生活でのマナーやモラルを高める。
- チームプレーは人として「共に生きること」を実感させる。
- 練習・試合の中では意志力・忍耐力・集中力などを培い、責任感も養える。
- 仲間を支え合うことで豊かな人間関係も築ける。
- 達成感・充実感を感じることで「力強く生きる力」を培える。

スポーツで得たものは、勝ち負けだけにこだわらず、「輝いて生きる心の力」(ライフスキル)を与えてくれます。

私自身は、その成長する過程を一人の大人として「立ち止まり」「向かい合い」「じっくり話を聞く」ことを実践し、温かく見守らなければならないと思っています。

§ 2 イメージすれば夢は叶えられる。

「半年後、一年後、二年後の自分を明確に思い描いてみよう」

もちろん将来のイメージ像は変わってもいい。とにかく「こうなりたい」ということを、できるだけ具体的に思い描いてみる。ただどんなにイメージを膨らませても、本人が心のすみで「そんなことあるわけない」「できっこない」と思っているのは、何の効果もない。いつも素直で前向きな気持ちを持つことが大切だ。

疑うよりも信じることに長けている人が成功する

自分がなりたいと思ったイメージには、絶対なれると信じる。自分で思いついたことは 100%可能だから思いつくのだ。